

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 30 日

事務事業名		地区懇談会事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	060101000879	
総合計画の施策名		0601 市民協働のまちづくり				単独/補助	単独	所属課	010101	
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり				主要事業		秘書広報課		
施策名		01 市民協働のまちづくり				市長マニフェスト				
手段名		01 ① 広報広聴の充実				未来PJ事業		グループ	秘書広報G	
		① 広報広聴の充実				合併建設計画事業				
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	04	01	00	単年度繰返し (平成17年度~)			
法令根拠						広報広聴事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要(事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>地区の区長から、地域の課題など様々なご意見・ご要望をお伺いし、市政に反映することで、地区のまちづくりへの参加を促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度までは小学校区内毎に、市内公共施設で市長と区長・副区長との直接対話形式の意見交換や要望聴取を実施。 平成27年度は中学校区内毎に、市内公共施設で市長と区長・副区長との直接対話形式の意見交換や要望聴取を実施。 平成28年度は、市長提案により、各行政区を訪問し、ご意見・ご要望をお伺いしました。 平成29年度は未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> [4~6月] 開催方法の検討・決定 [6~10月] 区長と日程調整し、訪問 [11~12月] 要望まとめ資料の作成 [12~1月] 担当課で対応状況を記入 [3月] 区長へ資料を配布 <p>・ご要望が多い部署である経済部、経済部から1名ずつおよび秘書広報課から1名が随行し、ご意見に対応できるようにしました。</p> <p>・訪問先は、区長宅や地区公民館・集会場。区長以外も区長が必要だと思う方を参加可能としました。訪問不要という地区も一部あった。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> [4~6月] 開催方法の検討・決定 [6~10月] 区長と日程調整し、訪問 [11~12月] 要望まとめ資料の作成 [12~1月] 担当課で対応状況を記入 [3月] 区長へ資料を配布 	地区数	地区	120.00	0.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
区長及び地区の方	訪問地区数	地区	115.00	0.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
意見などを聴き、地域課題や要望などを行政に反映させます。	意見・要望の件数	件	597.00	0.00	600.00	600.00	600.00
	意見が市政に反映されていると思う市民の割合	%	25.20	25.20	26.00	27.00	28.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	42	
			事業費計(A)	千円	0	0	42	
	人件費	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人		
述べ業務時間	時間	442.00	11.00	460.00				
人件費計(B)	千円	1,293	32	1,346				
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,293	32	1,388		

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
				11 需用費	42	
		合計	0			合計 42

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	地区懇談会事業	事務事業No.	60101000879	所属課	秘書広報課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	旧岩瀬町で実施していたものを引き継いで実施しています。 平成23年度に、懇談会参加対象者を、区長・副区長以外の方へ拡大し、事業名を”区長・副区長懇談会事業”から”地区懇談会事業”と改めました。 平成26年度 小学校区ごとに10回開催 平成27年度 中学校区ごとに5回開催 平成28年度 区長を一軒一軒訪問
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市政に対し市長と地区代表者(区長・副区長)が対話をもてる良い機会です。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	平成28年度は、全行政区を訪問したが、時間的にかなり費やすことになる。効果を下げることなく、訪問方法等を検討してことも必要と思われる。
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市政への関心と各地区の要望を把握するのに重要な事業であるので、施策体系の広報広聴の充実に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	各地区代表者である区長などの要望を聴くのは行政の務めであり妥当です。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	平成28年度は、全区長を訪問したため、意見要望なども多く出ています。これ以上に向上させるのは難しいのが現状です。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	区長などの全体的な意見などを聴く場がなくなります。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がありません。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	経費としては、お茶代程度であり削減は難しい。人件費については、28年度に全区長を訪問したため、多くの意見・要望があり、その対応や会議の議事録作成で、業務時間が大幅に増えた。面接方法においては、再考も考えられる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	区長などは地区の代表者であり 公平・公正です。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成28年度は、市長提案により、行政区毎に訪問し、より多くのご意見・ご要望をいただくとともに、ご要望に答えることができたと思います。平成29年度は未実施。																		
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="2">成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○		低下			
コスト																			
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	○																	
低下																			
28年度には全区長を訪問したため、対応や会議の議事録作成で業務時間が大幅に増加した。方法においては、再考も考えられる。	(6) 事務事業優先度評価結果																		
	成果優先度評価結果																		
	コスト削減優先度評価結果																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>